

## 地域住民へのメッセージ

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名： **国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院**

※各項目200字以内で記載してください。

1	<p>神奈川県がん診療連携指定病院としてのメッセージ</p> <p>(例) 当院は、すべてのがん患者さんの治療方針の決定を外科、腫瘍内科、放射線治療等複数の領域の専門家による「カンサーボード」によって十分に検討し、最善の治療を行うよう努めております。</p> <p>当院は、5大がんを含めた多くのがん治療に対応しています。各領域の専門家により、手術治療、放射線治療、化学療法から緩和ケアまで切れ目のないがん治療を提供しています。地域連携の更なる強化に取り組んでおり、退院後も安心していただける医療の提供に努めてまいります。</p>
2	<p>相談支援センターからのメッセージ</p> <p>(例) 医療ソーシャルワーカーが皆様のお話を伺い、一緒に考え、課題解決のお手伝いをさせていただきます。また、お話をお伺いし、専門の看護師やスタッフをご紹介しますことができます。</p> <p>当院では、地域支援センターを開設し、患者さんからの直接のご要望は、患者窓口を通じて、地域の診療所、医療スタッフからのご要望は、在宅医療室、地域連携室を通じて、がん連携室での対応につなげています。特に地元の患者さんを中心に情報交換や問題の検討を行い、地域と共にごがん治療、緩和ケアに取り組んでいます。</p>
3	<p>緩和ケアチームからのメッセージ</p> <p>(例) 緩和ケアチームには、長年緩和医療に携わっている経験を積んだ医師、看護師、薬剤師が含まれ、身体的な痛みを始め、患者さんの精神的苦痛を和らげるため、担当医と連携し、最善の医療を提供します。</p> <p>当院には、がんの診断時から病気の経過に伴って起こる「つらさ」を和らげ、患者さんとそのご家族の生活の質(QOL)を維持・向上できるよう支援する緩和ケアチームがあります。入院中の身体・心理・社会的苦痛や退院後の療養生活に関する心配事、気持ちのつらさなど、心身の苦痛を緩和し、がん療養中もできるだけ普段に近い生活ができるよう支えます。退院後も継続したケアが提供できるよう緩和ケア外来も開設しております。また、地域における緩和医療、がんと診断された時からの緩和ケア、がんと共生の推進を目指し、地域医療機関や院内外のホスピス緩和ケア病棟との連携を図りながら緩和ケアを提供しています。</p>
4	<p>緩和ケア病棟からのメッセージ(※緩和ケア病棟が設置されている場合のみ記載してください。)</p> <p>(例) 緩和ケア病棟は、別棟となっており、全室から中庭に出ることが可能で、豊かな自然を感じて、充実した時間を過ごすことができます。</p> <p>緩和ケア病棟は病床数20床(有料個室10床・無料個室10床)で、全室個室です。地域の医療機関や診療所、訪問看護ステーションと連携を図りながら、患者さんの「症状緩和」を目的とした入院の受け入れをしています。病棟には緩和支援療法科の医師・看護師・ボランティアがおり、院内の多職種と共に、「がん患者のつらさをやわらげ、“生きる”をささえる」を理念に患者さん、ご家族に寄り添いながら緩和ケアに取り組んでいます。</p>